

☆「良いものを見る」ということ

写生大会の作品が各学年の廊下に飾られています。どの作品も力作ぞろいで、廊下を歩くのが楽しみです。普段は部活動で大きな声を出し、元気に動いている生徒の作品が、穏やかな優しい表現で見事に描かれているのを見た時などは、違った一面を見る事ができたようで、うれしくなります。

絵を描くこと、楽器を演奏すること、体を動かすこと、人それぞれ得意不得意はあると思いますが、「うまくなりたい」という気持ちは誰にでもあると思います。良いものを見るということはとても大切なことです。海外の美術館では、絵を描く道具を持ち込んで、有名な絵を見ながら、そっくりな絵 <模写(もしゃ)> を描いている人がたくさんいます。

(日本の美術館では出来ませんが…)

みなさんも、友だちの上手な絵をぜひ見てください。木や建物をどのように描いているのか、どんな色の付け方をしているのか。また、絵とともに説明文が添(そ)えられています。色や影の付け方など、工夫した点が書かれています。せっかく良いものが近くにあるのですから、ぜひ掲示されている作品を見てみましょう。

また、絵に限らず、勉強でも運動でも、得意な人のやり方や姿を見ていると、自分の力を付けるためのヒントに気づくことが多いものです。勉強が得意な人、運動が得意な人のやり方や姿もよく見てみましょう。



☆群馬県中学校駅伝競走大会結果 11月11日(土)

11日(土)に前橋総合運動公園で、県駅伝競走大会が行われました。郡市の大会では、女子チームが出場枠ギリギリで県大会出場をつかみましたが、本番では50チーム中27位という素晴らしい走りを見せてくれました。

7月から始まった駅伝練習は、男女とも早朝から、暑い日も寒い日も5カ月近く、本当によく頑張ったと思います。練習に参加してくれた大勢の生徒たちは、毎日一生懸命に練習に励んでくれましたし、選ばれた選手たちは男女ともに力を出し切ってくれました。

選手に選ばれなかった生徒も、オープン参加で3名が大会に出場しました。

また、選手以外の多くの生徒が、テントの設営や荷物の整理や片付けなど、選手のためにできることを積極的にやってくれました。

夏からたくさんの生徒が一丸となって努力してきた成果が表れた駅伝大会でした。



☆南中生の活躍

【藤岡ロボチャレンジ2017】

11月18日(土)に藤岡工業高等学校の体育館で

「藤岡ロボチャレンジ2017」が開催されました。

毎年、科学部が出場していますが、今年も大活躍でした。

<団体戦> 第3位

<チーム戦> 第2位「ジャック」 第3位「2代目ジョニー」



【第9回東部地区アンサンブルコンテスト】

フルート三重奏 金賞

クラリネット五重奏 銀賞

打楽器三重奏 銀賞

